

ドン・ボスコ生誕200周年ニュース

BICENTENARY OF BIRTH NEWS



No.2 / 2014年6月11日 / ドン・ボスコ生誕200周年実行委員会発行

サレジオ家族の皆さん

梅雨の季節に入りました。ドン・ボスコ生誕200周年の記念シンボルである「ひまわり」の種を蒔いた皆さんもおられると思います。恵みの雨を受けて日々成長する姿を、楽しみにしていることでしょう。今号のニュースでは、記念シンボルの「ひまわり」について、分かち合ってみましょう。

DB200周年の記念シンボルに、「ひまわり」を選んだ理由は？

- ・ドン・ボスコの誕生日は8月16日。ひまわりは、その記念日を思い起こさせる夏の花です。
- ・あざやかな黄色のひまわりが咲きならぶ姿は、ドン・ボスコの「喜び」「明るさ」を連想します。
- ・ひまわりが太陽を追い続ける姿は、いつも神さまを追い求める人のイメージと重なります。
- ・一つの種が実ると、無数の種に増えます。ドン・ボスコの心の無限の広がりやを連想します。
- ・群れて成長し、いっしょに咲く姿は、サレジオ家族共同体のファミリーらしさに似ています。

「ひまわり」を育ててみましょう

- ・各支部・学校・小教区等で、ドン・ボスコ生誕200周年を紹介しつつ、ひまわりを育ててみましょう。
- ・種まきの時期は、遅くとも6月までがよいそうです。すでに各地でひまわりを育てています。
- ・今年の夏に少しでも咲くとよいですね。その種から、来年2015年8月16日の生誕200周年記念日には、たくさんのひまわりが咲いて、祝賀ムードが盛り上がることを楽しみにしましょう。



「ひまわり」のそばに、例えばこんな説明を…

ドン・ボスコ生誕200周年を祝う「ひまわり」

日本のサレジオ家族は「ひまわり」を、ドン・ボスコ生誕200周年を記念する花として育てます。ひまわりのように、私たちもいっしょに神さまに向かって歩み、笑顔でまわりの人に生きるよろこびを分かち合ひましょう。

DON BOSCO Bicentenary of Birth 1815-2015

次回ニュースでは、記念グッズについてお知らせする予定です。扶助者聖母のご保護と導き、ドン・ボスコの取りなしがありますように。

